第56回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 令和7年8月18日(月)午前10時から午前11時40分まで

会 場 青梅市役所2階災害対策本部室

出席委員 20名、代理 1名

宮口会長、佐々木座長、石坂委員、細金委員、杉山委員、井上委員、黒田委員、秦野委員(豊田氏代理)、
富樫委員、池田委員、高筒委員、倉科委員、犬竹委員、木崎委員、薫田委員、三ツ木委員、宮崎委員、
井口委員、加藤委員、中山委員、小林委員

傍聴者数 2名

事前配付資料

議事次第

青梅市公共交通協議会委員名簿

資料1:青梅市公共交通協議会報告・協議資料1

資料1の別紙:第56回青梅市公共交通協議会 協議資料2

参考資料:河辺南公共交通推進委員会・公共交通施策の実施にかかる協議結果(議事要旨)

当日配付資料

資料1:協議事項3. 規約の改正案(11・12ページ差し替え用)

1. 開会

2 議題

【報告事項】

1. 前々回と前回協議会の振り返り

【協議事項】

1. 河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の本運行に向けた基本方針の変更について
2. 河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の本運行(案)について
3. 協議会規約の一部改正について
4. マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業の本格実施(案)について
5. 青梅産業観光まつりへの出展について
6. その他

3. 閉会

1. 開会

○事務局から以下の新任委員を紹介

東京都交通局 自動車部 計画課長

京王自動車株式会社 青梅営業所長

東京都西多摩建設事務所 管理課長

青梅市中学校PTA連合会 理事

国土交通省関東運輸局 東京運輸支局 輸送担当首席 運輸企画専門官

2. 議題

【報告事項】

○座長

それでは規約にもとづき進行を務めます。

最初に、報告事項1、前々回と前回協議会の振り返りについて事務局から説明をお願いします。

○事務局

報告事項1について資料の2～4ページを説明

○座長

ありがとうございました。ご質問あるいはご意見はありますか。

ないようですので、協議事項1、河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の本運行に向けた基本方針の変更について説明をお願いします。

【協議事項】

○事務局

協議事項1について資料1の5～7ページを説明

■令和5年度から6年度にかけて、2回、グリーンスローモビリティ実証運行を実施し、いずれも一定の需要があった。

■第55回公共交通協議会で、以下の内容を含む「本運行に向けた基本方針」を協議し、承認された。

・車両はグリーンスローモビリティを使用すること

・運賃は片道100円から300円の範囲とすること

・運行頻度は、実証運行の結果を踏まえ、引き続き協議すること

■「本運行に向けた基本方針」では、道路運送法第4条の許可申請を想定している。これは、行政が計画し、一般乗合旅客自動車運送事業が許可された交通事業者が、事業の一つとして運行を担うものである。

■一般乗合旅客自動車運送事業者による運送が困難な場合、短期間に限り、タクシー事業者など一般乗用旅客自動車運送事業が許可された事業者が、一般乗合旅客自動車運送の運行を担うことができる、道路運送法第21条の許可申請を行うことも考えている。この場合、期間中に事業者が一般乗合旅客自動車運送事業の許可を取得することで、継続的な運行ができるようになるが、事業者にとっては、採算や人員確保など、事業化に対する課題が考えられる。

■そこで、今回の協議会において、自家用有償旅客運送での登録もできるよう、基本方針の変更案を提案する。

○座長

ありがとうございました。ご質問あるいはご意見はありますか。

○委員

補足になりますが資料1の6ページ下段、道路運送法第78条第2号の有効期間は2年ですが、事業者協力型の場合は5年になります。

○委員

車両は、実証運行で使用されていたグリーンスローモビリティの延長でしょうか。それともアンケート結果や本協議会で出ている他のタイプもあるのでしょうか。乗務員・乗客の安全性の確保などで他市で使用されているタイプも検討しているのでしょうか。

○事務局

車両は計画案の項目で説明します。

○座長

道路運送法第78条も追加するという点に関して、そのほかご質問あるいはご意見等ありますでしょうか。それでは、協議事項1について承認することに異議はありませんか。

○全委員

異議なし。

○座長

この内容で、承認します。

次に、協議事項2、河辺町1～3丁目地区における新たな公共交通の本運行(案)についてです。事務局から説明願います。

○事務局

協議事項2について資料1の8～10ページ、資料1の別紙を説明

■目的や走行区間は変更なし。

■運行主体は交通事業または市としている。第78条第2号の場合、運行管理には交通事業者、乗務員にはシルバー人材センター等の地域の方を予定したい。

■運賃について、第78条第2号の場合は「運送の対価」となるが、運賃そのものは協議会では協議できないため、参考として掲載した。各路線バス事業者にはヒアリングを実施し、金額に影響がある意見は、特にいただかなかった。

■ダイヤの補足として、乗務員は2名が入れ替わりながら、1名は乗務、もう1名は休憩や事務作業などを依頼する想定としている。

■資料1の別紙17ページの補足として、自家用有償旅客運送の必要性について、鉄道と路線バスのサービス圏外に指定された河辺町1、2丁目だけでなく、「坂の行き来」という当初の目的に鑑みて、河辺町3丁目を含めた地区を中心に、公共交通の導入に向けた取組みを進めている。

○委員

車両が通ることによって地域の協力が必要になってくると思いますが、自転車レーンのように分かりやすい標記はされるのでしょうか。

○事務局

実証運行と同様の措置を考えています。車両が通る道路は、運行中と書かれた看板等の掲出を予定しています。

○委員

車両の件ですが、車種調整中ということで複数台のタイプの記載があり、令和7年度はレンタル、令和8年度は購入を予定との記載がありますが、令和7年度の中で、タイプで使い分けるといことは考えられているのでしょうか。

○事務局

それも含めて調整中です。

○委員

であれば、ぜひ、今まで1タイプだけのグリーンスローモビリティであり様々な意見がありましたので、それぞれの違いを知ってもらうためにも月別に何種類か採用されたらよいと思いますが、そういう検討はどうでしょうか。

○事務局

月別で実施可能なら、複数種類について乗り比べもできると思いますが、車両の運搬、ナンバープレートの交換が発生しますので、予算の範囲内、あるいは道路運送法第78条で登録申請するにあたり、そこまでフレキシブルな対応ができるか、運輸支局の方とも相談しながら検討します。

○座長

提案のところは、非常に重要なポイントと思われれます。予算の関係もありますが可能な範囲で検討いただきたい。

○委員

道路運送法第78条で進めるとなると、交通事業者の2種免許のドライバーでなく、一般のドライバーの方が講習を受けることになるため、安全の確保の部分については慎重にお願いしたい。一方で、バス事業者も2種免許の取得者を確保するのは非常に苦しい状況にあり、グリーンスローモビリティ運転のために新たに乗務員を確保するというのはかなり難しいことから、一定のルールのなかでの安全の確保と、既存の交通モードとのすみ分けなどについて、この協議会で議論させていただくなかで導入を進めていただければというお願いでございます。

○座長

これまでのグリーンスローモビリティの実証運行とは異なり、ドライバーは道路運送法第78条によるものとなるため、安全性については十分注意していただきたい。また、グリーンスローモビリティが走行中であることを明確にしていきたい。

資料1の10ページに、車両に関してエンクロージャーの使用の判断および記録とありますが、車種によってはエンクロージャーがない場合もあります。

○委員

資料1の別紙の10ページの運賃について、200円は持続可能な公共交通ということで、ある程度妥当なところかと思いますが、100円から200円あがるという根拠を市民にどのような形で開示していますか。

また、企画乗車券の場合は、乗り継ぎについてどのように処理されますか。

○事務局

200円の算出の根拠は、資料1の別紙の11ページに記載しています。アンケート結果や収支率、地域住民の意見、他の交通事業者の初乗り運賃などを勘案したうえで提案しました。

○委員

河辺南公共交通推進委員会に示され、市民に開示されているということですか。

○事務局

前回の河辺南公共交通推進委員会では100円から300円の範囲で説明したところですが、先日、河辺南公共交通推進委員会の委員長には200円で進めていきたいと提案させていただいたところ、とくに意見はありませんでした。なお、河辺南公共交通推進委員会は9月中を目途に開催を予定しており、そのなかで金額を提示したいと考えています。

企画乗車券は、乗車券の値段が上がることによる負担感を抑えることを目的としたものですが、乗り継ぎ特例は、片道乗車券と同様となります。

○委員

令和7年度は車両をレンタルするというので5タイプを候補とされていますが、試乗していますか。

○事務局

モビリティワークスのLSV-4は、令和4年度のイベントで2日間走らせたという経緯があります。また、AR-07は、令和5、6年度の実証運行時の車両となります。これ以外の3つの車種は事務局が他地区で試乗しています。ただし、シンクトゥギャザーのeCOM-4については、それより一回り大きい車両として、池袋で走っている「IKEBUS(いけバス)」の車両を試乗しています。また、NAO2-6Jは走行中の試乗ではなく、展示中の車両に乗車しています。

○委員

利用者が体験するのが最もよいと思いますが、1日だけ試乗会を開催するのはいかがでしょうか。予算的に厳しいでしょうか。

○事務局

今回は、そこまでは考えていません。令和4年度からの取組をベースとし、いろいろな選択肢を考えていくということになります。

○座長

乗務員に対しても結構負担が大きいという話があり、事務局で試乗されているということであるので、そうしたところも含めて、これまでいただいた意見を踏まえ、車種選定をお願いしたい。

これまで市民への周知、運賃や車両などについていろいろ意見をいただきましたので、十分注力しながら進めていただければと思います。とくに意見がなければ案について承認することに異議はありませんか。

○全委員

異議なし。

○座長

この内容で、承認します。

次に、協議事項の3、協議会規約の一部改正について、事務局から説明願います。

○事務局

協議事項3について資料1の11～12ページ(当日配布の差し替え資料)を説明

○座長

質問・意見をお願いします。

○全委員

～意見なし～

○座長

特に意見がなければ、案について承認することに異議はありませんか。

○全委員

異議なし。

○座長

この内容で、承認します。

次に、協議事項4、マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業の本格実施(案)についてです。事務局から説明願います。

○事務局

協議事項4について資料1の13～17ページを説明

○委員

今回協議が調うと令和8年度以降は毎年度実施という理解でよいでしょうか。

○事務局

この協議会の協議で調った内容で、継続をしていくという形となります。

○座長

昨年度からかなり利便性が向上しているという感じがします。

○委員

資料1の13ページに、「一人当たりの運賃」という記載がありますが、複数人が乗車した場合どうなのかを考えると、「一人当たりの運賃」という表現がわかりづらいと思いました。

○事務局

13ページは、「1回の乗車の運賃に対して1人につき2分の1の額を上限に助成」に修正します。

○座長

助成希望者が2人で乗車した場合、割り振りを決める必要があるということですか。たとえば800円なら、500円と300円とか、400円と400円とか。

○事務局

800円の場合、最大1人当り400円の助成となります。1人目が400円以下の助成、2人目も400円以下の助成となります。仮に3人の利用ですと、相談して300円、300円、200円としていただくことで、より公平感があるように助成するということも可能になりますし、1人が400円であとの2人が200円という形で支払うこともできます。

○座長

運賃の割り振りをし、かつその半分を助成するということですか。

○事務局

助成させていただくのが今の金額となります。

○委員

全体の運賃額を割り勘しようという意味になります。

○座長

今のケースは全額助成ということになりますか。

○事務局

全額助成となります。限られた輸送資源を最大限に活用するという部分で複数人で乗車いただいた際に、より効果的にお使いいただけるような形になります。2人で半分ずつ助成を活用すれば、実質無料で利用できるようになります。

○委員

タクシー事業者には大きな負担になるのではないのでしょうか。簡単に割り勘できる仕組みはないのでしょうか。

○事務局

現在、仕組みの構築をいろいろ考えているなかで、少しでも負担感が抑えられるよう、例えばボタン1つで、2分の1や4分の1の金額が出せるような機能を付けられないか調整しています。

○座長

料金体系が非常に複雑なところがありますが、複数人で利用していただくと効果的になるということで、そうした仕組みがあると望ましいと思います。いろいろ大変なところがありますが詳細について検討いただければと思います。

そのほかいかがでしょうか。

○委員

資料1の14ページで、対象者に障がい者を追加していますが、このうち福祉有償運送登録のあるものを除外していること、経緯、理由を教えてください。

○事務局

除外項目は、福祉有償運送登録のある方、自動車の車両をお持ちの方を挙げております。

今回の制度では移動手段の確保が難しい方を対象としていますので、従前より移動手段をさまざまな形で確保されている方は、そちらをご利用いただくことになります。

○委員

自動車所有の方は分かりますが、福祉有償運送登録の方の場合は、利用できない場合があるかと思われませんが、そのような時でも利用できないということですか。

○事務局

はい。こちらの制度は利用できないという形で考えております。

○座長

助成額で月3,000円とありますが、システムの上限が分かるということになりますか。

○事務局

乗車時にマイナンバーカードをタッチすることで、残りの金額が分かるようになります。

○委員

利用のしかたにさまざまなパターンがあると思いますが、家族が同乗した場合など、もう少し市民に分かるように説明して欲しいと思います。

○事務局

今後、パンフレットや市のホームページ等で周知する際は、さまざまなパターンについてもお伝えできる

ようにしたいと思えます。

○座長

他に質問・意見がないので、協議事項4、マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業の本格実施(案)について、承認することに異議はありませんか。

○全員

異議なし。

○座長

ないようですので、この内容で承認とさせていただきます。

次に、協議事項5、青梅産業観光まつりへの出展についてです。事務局から説明願います。

○事務局

協議事項5について資料1の18ページを説明

○座長

質問・意見ををお願いします。

○座長

こちらは11月の開催ということですので、河辺町1～3丁目地区での本運行やタクシー運賃助成事業の本格実施の周知もあわせて実施してください。

昨年の出展ではどういう反応だったのでしょうか、また、それを踏まえてどのようなことを実施する方向でいますか。

○事務局

一昨年度から実施していますが、昨年度の新たな取り組みとしては、心のバリアフリーという視点を取り入れました。また、バスやタクシーの一部分の写真を示し、これがどういう機能であるかを答えてもらうゲームを行いました。ともにクイズ形式ですが、好評でしたので、このあたりを工夫して新しいものを出したいと考えています。

○座長

お子さんがたくさん来場したようですので、そのあたりも含め関心をもたれるようしていただきたい。

そのほか何かご質問ご意見等ございますか。

ないようですので、協議事項5、青梅産業観光まつりへの出展について、承認することに異議はありませんか。

○全員

異議なし。

○座長

この内容で、承認します。

それでは全体をとおして何か質問はありますか。

○委員

マイナンバーカードによる補助はありますが、マイナンバーカードはどのくらい普及しているのでしょうか。というのはマイナンバーカードを持っていない人もいると思われ、そういう人たちがこのような助成を受けられないという違いが当然出てきますが、そういった対応というのはどういうふうに捉えていますか。

○事務局

マイナンバーカードの所持状況の数値は、この場では把握していません。

以前の本協議会で回答したとおり、補助対象はマイナンバーカードを持っている方のみという点を変える予定はありません。

○座長

マイナンバーカードの普及も含めた取組と理解しています。関係部署と協力して進めていただきたいと思います。

○委員

マイナンバーカードのタクシー運賃助成で、仮に4名乗車で運賃が800円とすると、それぞれ200円ずつ4人がカードを通すことになります。これに障害者手帳での割引もあるとさらに煩雑になります。半額のボタンを設定するなど、もっと簡略化できないでしょうか。乗務員の高齢化が進んでおり負担感が高く、また、これからは市内全域を対象として実施されるため集計の事務作業負担が増えます。このようなことも協議内容に入れて欲しいと思います。

○事務局

最初は負担になると思いますが、しっかりサポートしていきます。参考として、試行時の実績では3人乗車で3人とも助成を受けたケースは1件のみで、ほとんどが1人での助成でした。できるだけ同乗していただきたいとは思いますが、このことも含めて乗務員へ説明していきたいと考えています。

○委員

河辺町1～3丁目地区におけるグリーンスローモビリティの本運行に関して、運行管理の1つである運行可否の判断は交通事業者となることから、この点も事前の協議のなかに入れていただきたい。

○事務局

本運行にかかる事業者が決定しましたら、国土交通省にも相談しつつ、適切に協議していきます。

○委員

グリーンスローモビリティによる実証運行について、乗務員から話を聞いたところ、実施してはじめて分かったこととして暑さ・寒さが過酷であるとのこと。実証運行では寒さで上着が必要になりました。通年運行になると青梅市も夏は40度を越える日があります。車両選定のなかで乗務員の体調管理についても考えて欲しいです。

また、実証運行ではバッテリーが途中でなくなった、フル充電できていなかったなどの話がありました。適切に管理して欲しいです。道路運送法第78条で進んだ場合、市と事業者の役割に関する線引きについて、どちらがどこまで対応するのかは様々なことがありますので、運行の可否や事故が発生した場合など、事前に詳細の話し合いが必要となります。この点の協議もお願いしたい。

○座長

実証運行で課題が明らかになっています。本運行までに十分協議していただきたい。

○座長

また、マイナンバーカードのタクシー運賃助成については、さきほど事務局から、試行時の実績では3人乗車で3人とも助成を受けたケースは1件のみという話でしたが、こうした利用状況のデータを逐一報告され、活用しながら、より良い実施となるよう案内してください。

○座長

それでは、6、その他事項にうつります。

○委員

青梅鉄道公園のリニューアルについて、来年の春の開業を目指して準備を進めています。最寄駅の青梅駅からアクセスするためには、急な坂道があり徒歩で15分程度かかります。ベビーカーなど子ども連れの利用も多く、この課題解消に向けた取組が必要と考えています。どのように利便性を高めるか、地域公共交通のあり方や対応策として何ができるか、意見が欲しいです。永山公園全体や、市全体に広く展開していく可能性も考えられます。

○座長

委員からアドバイス等お願いします。

○委員

最も実現性の高いのはタクシーと考えています。電車の到着時間にあわせてタクシー乗車できるよう、青梅鉄道公園のホームページから予約できるようにするとか、相乗りして安く乗車できるとか、具体的にどのような連携ができるかタクシー会社に相談したいと考えています。

○座長

施設側から公共交通をセットで予約するという仕組みはMaaSのようで、よいと思います。具体的な提案があったら事務局へお願いしたい。

開業はいつごろになりますか。

○委員

令和8年3月下旬から4月となります。

○座長

そうすると、青梅産業観光まつりでの周知は難しいですね。

○委員

青梅鉄道公園の周辺には住宅地が広がっていることから、住宅地での利用も含め、JRがスポンサーになりグリーンスローモビリティを運行することは視野に入ってくるのでしょうか。そういったことも考えていければよいと思います。

○座長

急坂が課題となるのは河辺町1～3丁目地区と同じです。そのようなことが可能ならば検討してください。

○座長

その他、よろしいでしょうか。

ないようですので、本日の協議は終了いたします。熱心な御協議ありがとうございました。

それでは、進行を会長にお返しいたします。

○会長

青梅鉄道公園は近隣の小学校の遠足の目的地になっており、人気があります。

佐々木座長、ありがとうございました。委員の皆様にも、熱心な御議論をいただき、ありがとうございました。皆様の御協力によりまして、円滑に議事を進めることができました。

最後に事務局より連絡事項があるようなので、よろしく申し上げます。

○事務局

委員の改選につきまして、連絡いたします。令和7年8月21日付けで委員の任期が満了になるため、委員の皆様には、令和7年8月22日から2年間の任期で新たに委員就任のご依頼をいたしました。公募委員につきましても、7月1日発行の広報おうめや市ホームページにて募集し、二次選考が終了したところであります。次回協議会において、承認の協議をいただきますので、ご承知おきいただきますよう、お願いいたします。

次に、次回の本協議会は、12月頃の開催を予定しております。委員の皆様には、後日開催通知をご送付いたしますので、お忙しいところ大変恐縮ですが、よろしく願いいたします。

3. 閉会

○会長

それでは以上をもちまして、第56回青梅市公共交通協議会を閉会いたします。

委員皆様方、より一層の御理解と御協力をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

以 上